めろん

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

［年間テーマ］
半径５メートルの多文化共生

～クォーターライフクライシス～　（イッザティ・ラフィダー）

二十代後半、三十代寸前、大人の道のりとは何か、この先に何が待っているのか？

「めろん」では、「半径５メートルの多文化共生」という年間テーマを設け、協会の中で、あるいは書き手の身近な関係性の中で起こる多文化にまつわる出来事や経験から、読者とともに考えていきたいテーマについて問題提起していく。手の届く「半径５メートル」のできごととして、「自分ごと」として考えてほしい。

2025 年の元旦は、留学という形で再び日本に来て（小学３年生から中学１年生まで新潟県に住んでいた）から、日本で迎える三度目のお正月だった。友人の家に集まり、日本にある食材で母国インドネシアの料理を６種類ほど分担し作り、懐かしい味を楽しんだ。皆、大阪の大学に通う留学生で、修士・博士課程の仲間だ。母国の味を日本で味わうことは、ある程度長く日本に住んでいる者にとってはもう慣れたことだが、それでも特別な喜びがある。食事のあとはインドネシアのホラー映画を鑑賞し、大いに盛り上がった。気づけば朝の３時。話が途切れないほど心を許せる仲間であり、日本での家族のような存在だ。夜道を歩いて帰るのは危険なので、そのまま皆で泊まり、川の字になって眠った。眠る前に私は心の中で願いを込めた。修士課程を無事に修了し、奨学金を得て博士課程に進学し、引き続き日本で研究を続けたい。そして、今いるこの仲間や人とのつながりがこれからも長く続きますようにと。

正月明け、修士論文に追われた。２月の学位発表会に間に合わせるためだ。私はがん転移を引き起こすレアな細胞現象を研究している。その現象を可視化するイメージング装置は日本にしか無い。それが日本に進学した理由の一つでもある。本研究に対する探究心を理由に進学することは既に決めていたが、就職か進学かという人生の分岐点に立っていたことも事実であり、進学後の収入源も不確かなままで、奨学金の申請をした。

そんな中、一番に申請した奨学金は不採択。気を取り直して申請書を改訂し、グループリーダーからの丁寧な指導を受けながら、二度目の挑戦。「この環境下で、進学して研究を続けたい」と思えた。しかし、結果はまたしても不採択。あまりのショックに、グループリーダーでさえも驚き、「申し訳ない」と謝った。修士課程の奨学金は３月で終了する。４月から、どう生きていこうか。そんな時、家族から思いがけない言葉が返ってきた。「進学を全面的にサポートするから、安心して研究に専念して」。26 歳にもなって、親から仕送りをもらうなんて、自分のプライドが許さなかった。周囲の同世代は働き、結婚し、家庭を築いている。そんな中、私は異国で、自分勝手に夢を追っているように見えるのかもしれない。自分を責め続けた。それでも、私は自分を立て直した。学位論文の発表と提出という最後の山場に集中し、修士課程を締めくくることに全力を注いだ。

学位発表会を終えた私は、次に進む決意を固めた。友人の言葉がその背中を押してくれた。「君はまだ２回しか挑戦していない。25 回挑戦してダメだったら、諦めることを考えてもいい」。その言葉に背中を押され、奨学金やアルバイトの情報を探し始めた。すると、思わぬところからチャンスが訪れた。友人が働く研究室で実験の技術補佐員の募集があり、友人の引越しにより後任が必要とのこと。そこに、私が推薦された。面接を経て、正式に採用が決まった。

４月からの生活が見えた瞬間、心の重荷が少し軽くなった。そして、さらなる朗報が届いた。私の研究が評価され、大学と研究科の両方を代表して女子大学院生優秀研究賞を授与されたのだ。修士課程で優れた研究成果を上げ博士課程に進学する女子大学院生を対象に、厳正な審査を得て与えられる名誉ある賞だ。予想外の知らせに、驚きと喜びで胸がいっぱいになった。推薦面接で教授たちが熱心に質問してくれたことを思い出し、「私の研究に期待してくれているのだ」と実感した。この受賞は、修士課程での努力が認められた証であり、本研究をがん転移の新たな予防法の確立に貢献し社会に役立ちたいという励みになった。奨励金なども頂き、心の底から「神様はちゃんと私を見てくれている」と思えた。この経験が、再挑戦への気力となり、何通も申請書を書き

授賞式でのイッザティさん

No.213　発行元・返還先：（公財）箕面市国際交流協会
【賛助会員数】個人：315 名　法人：27 団体（5 月 15 日現在）
〒 562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター内
Tel：　072-727-6912
Fax：　072-727-6920
E-mail：info@mafga.or.jp
Web：　https://mafga.or.jp

上げられる自信が生まれた。

新学期が始まり、私は新しいスタートラインに立っている。目の前の景色は、これまでにないワクワクと、未知への期待に満ちている。20 代後半、人生の 4 分の 1 を過ぎた今、迷いや不安を感じることもある。でも、だからこそ支え合い、素直に助けを求め、そして自分自身を信じて歩き直していくことが大切なのだと、改めて考えさせられた。

クォーターライフクライシス。七転び八起きを経て、少しずつ強くなっていく自分と、広がる未来の景色を生き甲斐に、私はこれからも日本で研究を続け、がん転移を減らす社会を目指して挑戦し続けたい。

≪筆者紹介≫イッザディ・ラフィダー　大阪大学博士後期課程 1 年。インドネシア留学生協会大阪・奈良支部の渉外担当で、2024 年度の「ミニ多民族フェスティバル」では、アンクルンの演奏などをおこなった。

多文化リレーエッセイ

試行錯誤の「ひがしにほんご」（ドルギオン）

私が日本語を勉強し始めたのは大学生になってからだった。当時は自分の進路のこともろくに考えていなかった私だが、母に背中を押されて、モンゴル科学技術大学の日本語学科に入学した。この選択ひとつで私の人生が日本語、日本人、日本国と永遠につながることになるとは、そのときは分からなかった。大学 3 年生を終えた後、日本政府のプログラムで 1 年間の留学を経験した。帰国後、大学を卒業し、10 年ほど社会人として働いた。日本語教師や在モンゴル日本大使館の現地職員など、仕事はすべて日本語を使うものであった。

そして現在は、協会が運営する「ひがしにほんご」の日本語アドバイザーとして活動している。自分が苦労しながらなんとか乗り越えてきた日本語の様々な難しさに今ぶつかっている学習者をサポートをすることは、深いやりがいを感じる。ある時期、ボランティアよりも学習者の人数がはるかに多く、私一人で学習者 3、4 人をまとめて対応するという場面も何回かあった。特に、ミャンマー出身の 5 人グループが一斉に「ひがしにほんご」に登録したとき、猫の手も借りたいくらい慌ただしくなった。みんな日本語はこれから中級に入るくらいのレベルだった。2、3 回は来てくれたものの、やがて 5 人とも来なくなった。「この日本語教室はボランティアが足りない」と思われたのかもしれない。

逆に、最近は学習者が少なくなっている。就職してもう来なくなった学習者もいれば、マッチングしているボランティアが辞めるのと同時に自然と来なくなった学習者もいる。このようなケースに対して、できることは少ないかもしれないが、教室としてできることはしていきたい。

自分としては日本語の微妙なニュアンスなどを学習者にわかりやすく、簡潔に説明するなど、必要に応じてボランティアたちへのサポートが柔軟にできるような取り組みを心がけている。また、「ひがしにほんご」では年に 2 回、交流会を行っているが、もっと楽しい企画を考えつつ、参加者全員に楽しんでもらえることができたらと思っている。学習者にとって、「ひがしにほんご」が気楽でいられて、気軽に日本語の勉強やフリートークができるような居場所であってほしい。そのために、自分とボランティア全員が一体となってこれからもいろいろ試していけたらと思う。

【筆者紹介】ドルギオン・オトゴンジャルガル　モンゴル帰国後、2020 年から再留学中（博士後期課程）。2023 年 7 月から、「ひがしにほんご」の日本語教育アドバイザーを担当。多民族フェスティバル 2023 の「プチ自慢」ステージで、モンゴルの伝統的な早口言葉「ツァガーン・ロンホ」も披露した。

ECCジュニアで楽しく英語を学ぼう！
小野原教室
小学1-3年生クラス　16-17時
小学4-6年生クラス　13-14時
場所：箕面市立多文化交流センター
電話番号：05071193794
メール：c_rieyama@icloud.com
We are friends!
ECCジュニア

※ギャラリー・カフェともに月・火曜定休
チカノバ
指定管理者：（公財）箕面市国際交流協会
ギャラリー：10：00 ～ 21：00
カフェ　：11：00 ～ 20：30（日曜は～ 18：00）
水・木・金の 14:00 ～ 16:00 はカフェをクローズします
「フード」×「アート」×「ハート」をテーマに、箕面船場阪大前駅改札すぐにオープン！
新船場北橋
大阪大学箕面キャンパス
箕面市立船場広場
箕面船場阪大駅
新御堂筋
箕面市立文化芸能劇場
歩行者デッキ
B3F
千里中央↓
ホームページ　Facebook　Instagram
北大阪急行線・箕面船場阪大前駅　改札階（地下 3 階）
（〒 562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー）
TEL:072-734-8711（ギャラリー）／ 072-734-8722（カフェ）
FAX:072-734-8732　Email:chikanova@mafga.or.jp

コラム
アートの小箱
Vol. 19

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー（協会職員・アート活動家）による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。

「秘密の花園」

「秘密の花園」というワードに憧れがある。本の題名か、何かの演劇のタイトルか知らないが、この単語に何かときめくものを感じる。そんな「秘密の花園」感のある場所が、箕面駅のすぐそばにある。「縁（えん）の自由空間」という貸しスペースだ。

アートとは、ここではないどこか、非日常をもたらす行為や場、作品のことをいう。たった１本の映画が、１冊の本が、ひとつの絵画が「ここではないどこか」の扉となり、場合によっては違う人生の扉を開くものとなることがある。出張などで遠く日本から離れた外国にいても、心は日本の会社に縛り付けられていることもあるだろうし、反対に日本国内にいても全く違う場所にいるような感覚を与えてくれることがある。

「縁の自由空間」は、まさにそのような場所だ。その一角に入った途端、心がトリップする。いろんな用事から解放されて、本来の自分のしたいことや好きなことがむくむくと頭をもたげる。オーナーの松下さんにお話を伺った。母親が 30 年ほど前からここで雑貨店を営んでいたそうだ。コロナ以降、カフェを閉め貸しギャラリー・フリースペースとして運営するようになった。「こんなに表現欲を持った人たちがいるのか」と驚くほど、多くの人がフリースペースを利用している。コンセプトは特にないという。肩の力を抜いて場を提供していることがわかる。松下さんの楽な雰囲気が人を引き寄せるのだろう。内装も自分で手がけたという。そこには、誰のものでもない時間が流れている。

別の国に来たような気持ちになるギャラリー横の空間

以前、ここで開催された「手作り市」に来たことあるが、おのおの自分で作ったものを持ち寄って、店を出していた。多くのハンドメイド作家は、一人で作品作りにいそしんだのであろう。それが、このフリースペースで日の目を見て、多くの交流を生む元となっている。

閉じながらつながる。これもアートの特別なつながり方だ。地下水のように、人々を心の底でつなぐ役目をしている。すぐそばにある非日常「縁の自由空間」に、おいしい地下水を飲みにぜひ一度足を運んでみてほしい。

「縁（えん）の自由空間」〒 562-0001
箕面市箕面6－ 2－ 18
詳細は Instagram（QR コードからアクセス）をご覧ください
SALUNPOWAKU

唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で 40 年の歴史～

（公社）日本バレエ協会会員・ＡＯＤＴ会員

＊バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書（Diploma）や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才～ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

＊健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者（姿勢科学士）が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24　阪急牧落駅西側右斜め前（駅より 30M）
072－721－6300／721－2576　http://www.karaki-sachiko-ballet.com/

国際交流協会（MAFGA）からのお知らせ

コンサート 6/7（土） 13:30 開場 14:00-16:00	**バロックチェロとスクェアピアノのコンサート @comm cafe** 「19 世紀音楽サロン」として、5 月の名古屋公演に続いて開催。関西初登場！スクウェア・ピアノの音色をお楽しみください。 ◎　中村 仁（バロック・チェロ）◎　小原 道雄（スクウェア・ピアノ）	場　所：comm cafe 料　金：一般 3,000 円／高校生以下 1,500 円 ※前日までの購入で各 500 円引 定　員：30 名 申込み・問合せ：072-727-6912	電話で申込み
読書会 6/15（日） 14:00-16:00	**Sunday Book Review** 1930 年代の米国が舞台の E.B. ホワイト著『Charlotte’s Web』を一緒に英語で読む読書会です。 ◎　スミス　マデリン（箕面市立南小学校 ALT）	場　所：多文化交流センター 参加費：無料（別途、参加者・講師ドリンク代等　600 円程度） 申込み・問合せ：072-727-6912	電話で申込み
語学サロン 6/18-7/30 毎週（水） 10:30-12:00	**会話力に磨きをかける！中国語サロン** 中国出身の講師と、毎回違うテーマについて、中国語で語り合いませんか？中国のお茶もお楽しみいただけます。 ◎　Vivien（北京出身）	場　所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：通期 15,400 円（各回 2,500 円） 定　員：各回 10 名 全 7 回参加できる方を優先します 問合せ：072-734-8711	申込み
ワークショップ 6/19（木） 13:30-15:30	**大人の塗り絵** 参加者同士でおしゃべりしながら塗り絵をしませんか。完成した塗り絵は額に入れ、さらに、ご自身の作品を缶バッジにして持ち帰れます。	定　員：10 名 場　所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：2,200 円（材料費込み） 申込み：右記 QR コードから 問合せ：072-734-8711	申込み
説明会 6/21（土） 13:30-15:00	**2025 年度　第 1 回ボランティア説明会** 協会で新たにボランティアを始めたい人を対象に説明会を開催します。協会の事業についての説明や、活動グループの紹介をした後、ブースごとに活動説明と登録を行います。	場　所：comm cafe 参加費：無料 定　員：20 名 申込み：QR コードから	申込み
カラオケ 6/28（土） 18:00-20:00	**カラオケナイト** あなたの十八番はありますか？ワンドリンクで何曲でも歌っていただけます。よく響くチカノバの会場で歌ってください♪	場　所：市民ギャラリー「チカノバ」 参加費：無料（ワンドリンク制） 申込み：不要（直接、お越しください） 問合せ：072-734-8711	申込み不要
トーク 7/5（土） 14:00-16:00	**戦後 80 年在日コリアン　オールドカマー・ニューカマー語り継ぐ今** 日本の現代史の 80 年を、地域に住む二人の個人史から捉えなおします。 ◎　ペペジャ（在日 2 世、みのおセッパラムプロジェクト元共同代表） ◎　イヒョンスク（韓国出身、多様な背景のある学習者が自己開示ができる学び場づくりに取り組む）	場　所：comm cafe 参加費：無料（ワンドリンク制） 定　員：20 名（申込み先着順） 問合せ：072-727-6912	申込み
コンサート 7/12（土） 18:00-20:30	**分断を乗り越えるチャリティコンサート** プロのヴィオラ奏者によるチャリティコンサートと、ジャーナリストによるウクライナの最新情報の報告があります。材料費を除いた収益は、「国境なき医師団」に寄付します。 ◎　吉田 馨（ヴィオラ奏者）◎　玉本 英子（アジアプレス）	場　所：comm cafe 料　金：一般 3,500 円 賛助会員、22 歳以下 2,500 円 定　員：60 名（申込み先着順） 申込み・問合せ：072-727-6912	電話で申込み

KIMONO CHALLENGER 着物教室

初めてでも大丈夫！Let's enjoy wearing Kimono!
初心者向けの着付け教室を始めます
基本の着付けから学べます
海外の方も大歓迎！簡単な英語対応可

講師は着付け技能士1級（国家試験）取得
お問い合わせ　anitomo23@outlook.jp

CERES_KIMONO
インスタもあります！

他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

学習会
6/7（土）
14:00-15:20

人権啓発学習会「箕面市の人権文化部とは」

人権文化部とは、これまでの様々な取り組み、現在の課題を学びます。「あなたの人権を守ることは、私の人権を守ることでもある。」自分事として、人権保障に取り組むことの大切さについて学び、考えましょう。　◎　寺島 正祐（元箕面市職員）

定　員:80 名（当日先着順。申込不要）
※点字資料・一時保育は、要事前申込
場　所：らいとぴあ 21　3F ホール
主　催：箕面市人権啓発推進協議会
問合せ：072-722-2470

申込不要（点字資料・保育は電話で）

イベント
6/15（日）
13:30-15:30

「詩と音楽の小箱～南アジアの詩と音楽」

ムガル王朝の古都ラホール出身のズィヤー・ウル・ハサン先生を招いて、南アジアのみやびな言語ウルドゥー語の詩を朗読します。弦楽器サロードと打楽器タブラによる古典音楽もお楽しみください。◎　北田 信（大阪大学 人文学研究科 教授）

定　員：15 名（申込み先着順）
場　所：船場図書館
参加費：無料
申込み：6/2 ～電話・来館・ウェブで
申込み・問合せ：船場図書館（072-727-1033）

参加申込み

セミナー
毎月第三木曜日
6/19（木）
19:00-20:00

マンスリー多文化サロン　インド編
「現代インドにおける宗教祭礼とナショナリズムについて」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。
＊オンライン（Zoom）でも参加可能（HP から要事前申込み）
◎　虫賀 幹華（大阪大学 人文学研究科 助教）

参加費：無料
場　所：大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室
申込み：不要（会場参加）
外国語学部 HP から（Zoom）
主　催：大阪大学外国語学部
申込み・問合せ：072-730-5013

Zoom 参加申込み

フォーラム
6/21-22
（土 - 日）

移住者と連帯する全国フォーラム 2025 in 北関東

基調講演（6/21）では、「差別と偏見に脅かされるクルド人コミュニティ」、「人種差別撤廃法・条例の制定にむけて～到達点と課題」をテーマに、オンライン配信もあり。◎　安田 浩一（ノンフィクションライター）　◎　師岡 康子（弁護士）

場　所：ビエント高崎（群馬県高崎市問屋町 2-7）
全体会のみ、オンラインあり
参加費：現地 3,000 円（会員、学生割引あり）
オンライン 1,500 円
申込み：右記 QR コードから
問合せ:交通ユニオン（027-321-5544）

詳細・申込み

まつり
6/28（土）
11:00-19:00

大阪大学　夏まつり ～「ひと」と「まち」のレールをつなぐ～

新駅開業して初めての夏まつり。夜には盆踊りもあります。comm cafe 屋台が出店するほか、協会からは手芸サークル FADAS による雑貨の販売やボードゲーム「キャロム」ができるコーナーや子どもも大人も多文化にふれるブースもあります（17 時クローズ予定）！ 404 号教室でお待ちしてます。

場　所：大阪大学箕面キャンパス
申込み：不要
主　催：大阪大学（OUGC 運営会議）
企画・運営協力：大阪大学夏まつり実行委員会

上映会
7/6（日）
13:30 開場
13:50-15:30 上映
15:30-16:30 トーク

パレスチナとつながる映画上映会 『採集する人々』

パレスチナの人々の暮らしに息づく野草採集の文化。イスラエル占領下、この伝統的な採集行為が違法化された。フィクションとドキュメンタリー、アーカイブ映像を織り交ぜながら描き出したジュマーナ・マンナーア監督の作品を上映する。
◎　トークゲスト：戸田 ひかる（映画監督）

定　員：45 名（申込順）
場　所：とよなか男女共同参画推進センター
すてっぷ視聴覚室（エトレ豊中 5F）
主　催：パレスチナとつながる写真展
PROJECT マクルーバ
問合せ：ppp.maquluba@gmail.com

詳細

講演会ほか
7/19（土）
① 14:00-16:30（講演会）
② 17:00-19:00（ハンガリー料理と箕面ビールを楽しむ会）

さまざまな視点で世界を見る【ハンガリー編】出会いが紡ぐ音と色の物語

毎回テーマを設定し、新たな視点が得られる講演をお届け。外国語学部ハンガリー語専攻の卒業生による講演・座談会と、ハンガリー出身のクラリネット奏者によるトーク＆コンサート。comm cafe によるハンガリー料理の販売もあり。また、伝統楽器チテラのミニコンサート、民族舞踊パフォーマンス、卒業生によるハンガリー雑貨の物販、写真展など、楽しみ盛りだくさん！

定　員：① 250 名　②なし
場　所：大阪大学箕面キャンパス
① 1F 大講義室　② 3F 阪大広場
参加費：① 1,000 円　②なし
申込み：①6 月開始予定。主催者 HP で告知します　②不要
主催・問合せ：大阪大学外国語学部・人文学研究科外国学専攻

主催者 HP

coupe de Minami　スクール coupe de MINAMI　南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？

ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう！（立体裁断）

南正枝　プロフィール（略歴）
昭和４２～４５年　フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得
昭和４５～４７年　カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
昭和４７年以降　大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012　箕面市白島2-2-30　電話 / FAX　072（721）4151
E-mail　info@coupe-de-minami.com　URL　http://www.coupe-de-minami.com

6月 June　comm cafe（コム カフェ）ランチカレンダー

こちらは、多文化交流センター (小野原) のコムカフェ 1 号店のメニューです

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。
  また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook/Instagram をご覧ください。

ホームページ　Facebook　Instagram

AirPAY を導入しました！
クレジット決済、各種電子決済、QR コード決済がご利用いただけます。

火・木～土　9:30-11:30　カフェタイム
11:30-14:00　日替わりランチ (1,100円)
14:00-17:00　カフェタイム

日・祝日　9:30-17:00　カフェタイム

カフェタイムはスナック・ドリンクを提供します

おしらせ

2025 年 4 月から 1 号店（小野原）の営業日が変更になっています（水曜定休です）。水曜は箕面船場阪大前駅「チカノバ」にある 2 号店がオープン（11:00-14:00&16:00-20:30）していますので、ぜひそちらをご利用ください。（クーポン利用可！）

ス… スナックの日　イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
						1 ス MAFGA スナック
2 休館日	3 ファルザナさん ≪バングラデシュ≫ HALAL	4 店休日	5 ス MAFGA スナック	6 ノックさん ≪タイ≫	7 ス MAFGA スナック イ バロックチェロとスクェアピアノのコンサート 14:00-16:00	8 ス MAFGA スナック
9 休館日	10 ス MAFGA スナック	11 店休日	12 ヘバさん ≪シリア≫ HALAL	13 山口さん ≪中国≫	14 ルーパさん ≪インド≫ VEG ラクトベジタリアン	15 ス MAFGA スナック
16 休館日	17 ファルザナさん ≪バングラデシュ≫ HALAL	18 店休日	19 山口さん ≪中国≫	20 ノックさん ≪タイ≫	21 ティさん ≪ベトナム≫	22 ス MAFGA スナック
23/30 休館日	24 ス MAFGA スナック	25 店休日	26 ヘバさん ≪シリア≫ HALAL	27 洪さん ≪コリア≫	28 イ 大阪大学夏まつり (P. 5 参照) 出店！	29 ス MAFGA スナック

「めろん」 編集スタッフ
【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、鳥羽山良平、山下三千世、鷲尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター